

平成14年度に行われた主な事業

(単位：千円)

自然と調和した住みよい環境をつくる

宮園団地特定公共賃貸住宅建設事業	51,944
公営住宅水洗化工事	57,390
町道開進9号線特改1種事業	55,428
町道凍雪害防止事業(2路線)	48,468
町道2丁目線交付金事業	20,234
町道維持補修	41,244
町道除排雪	61,530
街路灯整備事業	3,445
生活路線バス維持費補助金	2,875
まちづくり事業	8,000

生き生きとした魅力ある産業をつくる

道営一般農道整備事業(問寒別・上問寒地区)	16,250
道営公共牧場整備事業	19,067
豊神地区基盤整備促進事業(農道)農道工事	22,900
乳牛検定組合、生乳成分検査事業補助	4,495
酪農ヘルパー利用組合補助	3,500
普通林道上幌延線開設工事	43,817
商工会育成補助	12,492
幌延町観光P R促進事業	2,634
森林管理道上幌延線開設事業	43,817
町有林整備事業	33,843

21世紀北の森づくり推進事業	8,419
農業用水道施設改修事業	9,907

明るく元気に暮らしをすすめる

社会福祉協議会助成	8,636
高齢者福祉の向上 老人クラブ育成	773
特別養護老人ホーム運営費補助	7,190
老人福祉センター増改築事業	145,941
スポーツ公園野球場電気配線改修事業	15,225
問寒別地区プール建設事業	51,900

学ぶところと文化を育てる

公民館の整備 幌延町公民館補修、 問寒別公民館暖房設備改修	2,584
小学校管理費	63,117
中学校管理費	28,662
国際交流事業(サハリン)	5,292
マルチメディア事業	3,497

町民参加のまちづくりをすすめる

自治会活動費補助等	1,312
広報誌「ほろのべの窓」の発行 12回	4,839

町の家計は大丈夫?

平成14年度の幌延町の決算額は、一般会計、特別会計合せて収入が73億7,079万0千円、支出が72億8,036万5千円、差引9,042万5千円でした。

町の各会計予算は、町民の皆さんから納めていただいた税金などのお金を、どのように有効活用して事業を行うかということが大事になります。ただ、収入と支出の差が大きければ良いということではなく、抑えるべきところと使うべきところのバランスが良くなければならないということです。

予算のバランスを見るための物差しが、次の各比率です。幌延町(一般会計)の数字を見てみましょう。

- 経常収支比率 79.7(76.9) ※平成14年度の数字です。
- 公債費比率 11.8(11.6) ()内の数字は平成13年度のもので。
- 起債制限比率 7.2(7.8)

● 経常収支比率

財政構造の弾力性を測定する数字です。町が自由に使えるお金(地方税、地方交付税、地方譲与税など)の中で、人件費や物件費、公債費(借金の返済金)など義務的性格の経常経費が占める割合で、この比率が高いと町独自のいろいろな事業が出来なくなってしまいます。町村では75%が一応の目安と

なっていますが、町の数字はそれより少し高めです。国から交付される地方交付税の削減や、公共施設などの維持管理経費がかさんでいることなどが要因ですが、行財政改革の推進により、効率的な行政運営を図っていきます。

● 公債費比率

今までの借金のその年度の返済金が公債費です。この公債費が地方税、地方譲与税などの一般財源に占める割合で、15%が警戒ラインとされています。今後とも、事業の緊急度、必要度の高いものを選別し、効率的な事業の推進を図っていきます。

● 起債制限比率

地方債(長期の借金)の許可制限に係る指標で、13%以下が財政の健全性を示す数字です。公債費比率と違うのは、借金の償還元金と利子に対して地方交付税で措置されている額を除いて算定している点で、起債制限比率のほうが財政の実態をより表しています。

以上の数字から見て、現在のところ何とか適正に予算が執行されていますが、今後、より町民の皆さんのニーズにあわせた施策を進めるため、更に経費の見直し、優先順位の検討などを進めてまいります。